

さっぽろ 市議団ニュース

2013年10月31日
No.93

日本共産党市議団事務局発行
電話 211-3221 FAX218-5124

北1西1新ホール 利用者の安全確保を 決算委 小形議員が求める

小形香織議員は10月24日の決算特別委員会で、北1西1に建設予定の2300人収容ホールを利用する市民の安全確保を求めて質問しました。

その中で小形議員は「①ホールエントランスは4階に設けると聞くが、終了後2300人が一斉に退去する際や災害があった時の来場者の安全確保はどう検討されているのか。②車椅子の方や歩行が難しい方が、4階のエントランスへ行く場合の安全性は一体どうなるのか。また、③荷物の搬出入用の大型トラックが北2条通りに並ぶとすれば渋滞は確実だ。スムーズに通り抜けることができるように設計を検討すべき」と質しました。

杉本文化部長は、検討中で具体的なものは示せないとしながら「①エレベーターなどを、分かり易いところにバランスよく配置し、十分な輸送能力を持たせたい。②歩行の困難な方が車で来られた場合は、地下1階から真直ぐ4階のホールエントランスまで上がれるように考えている。またホール内の全フロアで、エレベーターで乗り降りできる形にする。③できるだけ渋滞しないように検討をしたい」と答弁しました。

オータムフェストは市民に親しまれるイベントに 決算委 坂本議員が質問

坂本恭子議員は10月24日の決算特別委員会でオータムフェストの問題を取り上げました、

坂本議員は「オータムフェストは今年で6年目を迎え来場者も165万人、集客イベントの側面が強すぎるのではないか」と問いかけ、「ゆったりできない、座る場所がない、ブース料金が高いなどの声があるが、どのような評価をしているか。出店基準や産地食材の表示などが徹底されていない。本来の主旨である道内自治体の町おこしに資するものになっていないのではないのか。会場管理者任せでなく、本当に地域を支えていく質の高い祭りに育てていくべきではないか。また市民に親しまれるイベントとなるよう到来場者へアンケート調査を実施し、改めて市民ニーズの把握をしてはどうか」と質しました。

高野観光コンベンション部長は「来場者数は倍増、知名度も上昇しており、一定の評価をしている。西10丁目・西11丁目への会場拡大を考えている。元々道内市町村振興と道内食材の魅力を広くアピールすることを目的としており、収益性だけでなく、道産食材にこだわった品質の高いものを今後出していきたい。市民に喜ばれるものにするため、いろいろ総合的に検討をしていきたい」と答えました。